

令和6年度 讃岐民芸館瓦館 秋の企画展

「縁起物の瓦」展

瓦葺きの屋根の端には、鬼のほか、鶴亀、七福神など縁起のいい様々な形の瓦が据えられています。これらは総称して「鬼瓦（装飾瓦）」と呼ばれ、屋根の両端から雨が入ってくるのを防ぎ、魔除けや厄除け、招福などの役割があります。

本企画展では、様々な願いをかなえてくれるといわれる宝珠や、振ればなんでも思い通りのものが出てくる打ち出の小槌、縁起物の宝袋（ほうたい）や牡丹、車輪の「鬼瓦」を展示します。

また、これらと共にデザインされているのが、波や雲です。波は水を表し、雲は水を呼ぶことから、共に火災除けという意味があります。

個々の瓦の意味合いや、デザインをお楽しみください。



◆開催概要◆

- 【会場】 栗林公園 讃岐民芸館 瓦館
- 【期間】 令和6年9月13日(金)～12月15日(日)
- 【料金】 観覧無料 ※ただし栗林公園入園料が別途必要
- 【展示資料】 鬼瓦（装飾瓦）約15点